〈実践編〉

地理研究の実践

中世都市尼崎の景観

世の尼崎地域を対象とした景観復元研究を取りあげた 景観復元研究をご紹介します。その具体例として、 いと思います。 で再現する等があり、 史研究の有効な方法のひとつです。その表現方法には、 になる歴史的事実がたくさんあります。景観復元は歴 様子を視覚的に把握し易くなり、 を「景観」という具体的な形で表現するため、 景観を再現することです。 はじめ コンピュータ かつ取り組み易い方法として、地図を用いた 12 景観復元とは、 本項では、そのなかでも最も基 ーグラフィック (CG)、 明らかにしたい過去の様子 対象区域の特定時期の そのことにより明確 実物大 過去の ф

からみると精度が低く、 あります。中世尼崎地域の景観復元の先行研究として、 とですが、 **先行研究の確認と検証** どの研究にもあてはまるこ があります。 『尼崎市史』第一巻付図5 まずは先行研究を確認し、 しかしこの復元図は現在の研究水準 改善の余地がありました。 「戦国期の尼崎町推定 検証する必要が

の尼崎 させたのが宮本雅明氏でした。宮本氏作成の スにして文献史料も参考にし、 概要推定図〕は、近世の尼崎の城下町絵図を 中世尼崎地域の景観復元研究を大きく進展 寺院や城郭、 「戦国期 町場

> どめず、「寺院と境内からなる複合的都市空間」 市史研究のなかに位置付けたことにありました。 の研究の意義は、この復元を単なる一地域の成果にと の位置を詳細に明らかにしたものでした。また宮本氏 中世都市景観の典型例として日本の都 とい

遷を追求する視点も重要であると考えられました。 中世の各時期の景観復元を行ない、時系列的に景観の変 握することができます。一時期の景観復元にとどまらず、 されるものです。過去からの積み重ね、 景観は過去のさまざまな事柄の積み重ねのうえに形成 ることにより、 宮本氏はいくつかの寺社を景観復元の主要な素材に ると考えられました。ひとつは景観復元図の精度です。 からの変遷を追うことで、 一時期を切り取って景観復元を行ないました。 なると考えられました。 ましたが、 その一方で、 さらに多くの寺社や遺跡等のデ 宮本氏の研究成果にも改善の余地があ より詳細な景観復元図の作成が可能に また宮本氏は、 景観の本質をより正確に把 すなわち過去 戦国期という 夕を加え しかし

を総合して景観を復元していく必要があります。 h 都合の良い資料に巡り合うことはほとんどありませ の景観を正確に表現しているものですが、 必要です。 基礎デー 形図 関わりのありそうな断片的な資料を分析 正確な景観復元図を作成するためには、 一番適当な資料は、目的とする時期と区域 **夕を揃える** まずは手がかりとなる資料が そのような 成果

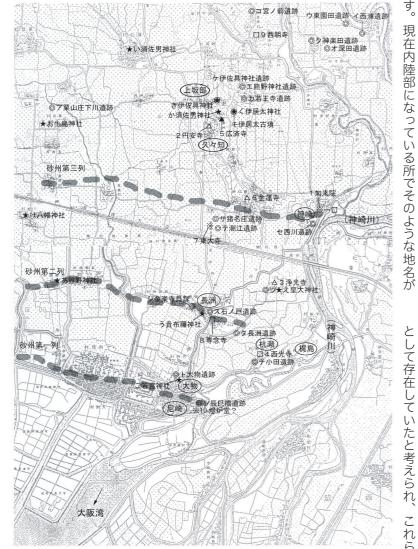
地 速に進展する以前の景観が保たれており、 台となる地図が正確である必要があります。 た地形図があります。 お適当です。 れが過去の景観をある程度表現したものであれば、 そのような資料として明治期に作成され 明治期は人工的な土地改変が急 かつ近代的 さらにそ な

> 絵図です。 同時代史料としてとても貴重です。 が、 立ちます。今回はこれを復元の土台のひとつにしました。 二三年作成の二万分一地形図がもっとも古く、 めた時期でした。関西地方では明治一七(一八八四) な測量技術にもとづく地形図が全国規模で作成され始 近世以前の景観をもっともよく表している資料は 义 近代以降の地形図と比べて精度では劣ります 特に、目的とする時期に作成された絵図は 大いに役

容は後世の絵図と比べて粗いものでした。 縮尺で写実的に描くという観念があまりなく、 時は測量技術や絵画の技法が未発達で、 目的外の情報はほとんど描かれていません。 特定の目的にしたがった表現内容になっていて、その 版として刊行されています。大いに参考になりますが、(4) (広徳寺絵図、京都・大徳寺所蔵) など数点が伝来し、 図」(大覚寺所蔵、同前)、「摂津国広徳寺門前小路差図」 内及びその周辺を描いた「摂津国長洲御厨内大覚寺絵 (尼崎市教育委員会所蔵、本書第1部掲載) の広域的な範囲を描いた「摂津職河辺郡猪名所地図」 尼崎地域に関わるものでは、 全国的に中世以前の絵図の絶対数が少ない 古代から中世初期の尼崎 かつ、 や 寺院の境 また、 なかで、 描写内 正確な 当 义

-192 -

す。 尼崎の精緻な景観復元図を作成することに役立ちま り正確な縮尺で描かれた絵図をベースにすれば、 には城下町になりますが、その城下町絵図のなかでよ 尺の絵図も作成されるようになりました。尼崎は近世 さらに測量技術や絵画技法が発達し、 と観念が生まれ、町絵図・村絵図が多く作成されます。 その欠点を多少なりとも補う資料が、 近世になると、 近世の絵図には当然ながら中世には存在 町や村の全体を絵図に描く必要性 比較的正確な縮 近世の絵図で 中世



(図1) 古代~13世紀の海岸平野部 (注(1)論文所収「図1古代~13世紀の尼崎地域」)

て陸地化したと推測できます。その他の関係資料でこ の推測が補強できれば、 ある場合は、昔は海浜部であった所が地形変化が起こっ なお確実な考察になります。

おり、 3 るもっとも身近な存在として寺院と神社があります。 寺院・神社・遺跡 景観復元研究でも大いに参考にしました。 参考文献が刊行されており、非常に有益です。 古くから地域の人々の信仰の拠り所や祭礼文化の拠点 として存在していたと考えられ、 なお、尼崎の地名に関しては、本章第二部〈史料編〉 「地名を調べるための基本文献」に紹介していると 尼崎市域の地名を網羅的に扱い考察する複数の 歴史性を有し、 これらの施設が立地 かつ地域に現存す 今回の

場に「〇〇寺」という寺院があったことが推測できま

いる所は、

かつて海浜部であった可能性が考えられ

や「〇〇浦」という地名が付され

また「〇〇浜」

の名前が付された「〇〇寺通」があれば、

かつてその

景観復元にとって有益な情報をもたらしてくれます。

に存在したものの情報が反映されていることが多く

地名には、その土地の形状や過去にその場所

あろう景観を推測する作業が必要になります。

よりも後の時代の情報を取り除き、中世に存在したで

しなかった事柄が描かれています。

したがって、

中世

たとえばある時期の地図にその場所に存在しない寺院

する場所及びその周辺がすなわち、 活動していた地域であったと推測できます。 古くから人々が居

公開されているので、 ウェブ版尼崎地域史事典 ゙アペディア* (apedia) 地域史事典』が刊行され、 は地域の歴史に関わる事柄を網羅的に収載した『尼崎 自治体史や地名辞典に記載されています。尼崎地域で 役立つからです。これらの情報は、 寺社の存続時期と場所が特定され、 か、等の情報が重要になります。これらの情報により、 ずっとこの場所にあったのか、移転したことはないの その際、 これらの寺社がいつ成立したか、 大いに参考になります さらにこれを改訂拡充し 景観復元にとても 一般的には新旧の さらに、 が た

体史で活字化されており、 史料の大半は『尼崎市史』や『兵庫県史』といった自治 図や絵図と比べて多く、 れていることがあり、 びつくものではありません。 文献史料 とも信頼できる資料になり得ます。 る埋蔵文化財調査報告書の類に記載されています。 す。遺跡に関わる情報は、 かにされると、景観復元にとって重要な情報となりま 古学調査により遺跡の存続時期や内容がおおむね明ら から発見される遺跡がその地の歴史を物語ります。 また、 いる史料で、 その形成過程や当時の社会状況まで含めて記さ 現在は地上に痕跡を残していなくても、 文献史料はその名のとおり文字で記され 地図や絵図のように直接的に景観に結 目的の時期と同時期の史料の数は地 有益な情報を含んでいることが 同時代性という観点ではもっ 内容を知ることができます。 おもに自治体が刊行して しかし、 尼崎に関わる中世 景観に関わる事 地下 い 考

誌類も作成されます。 また近世以降は寺社の明細帳や、 中世の史料には記載されていな 史跡などを記す地

第Ⅲ部第一章

「尼崎の地理・地形」第三節〈実践編〉

- 193 -

化された刊本として出版されている場合もあります。 中世史料と同様に自治体史に掲載されているか、 ていることがあります。近世以降のこれらの史料類は い寺院・神社の由来や、景観に関わる情報などを記し 活字

も追究することにしました。その成果をご紹介します。 とどまらず各期の景観復元図を作成し、景観の変遷を より正確に把握することを意図して、 た情報も反映させていきました。また、 絵図や地名から読み取った情報、 在した寺院・神社・遺跡の位置を記していき、 の城下町絵図を用いました。その図の上に当該期に存 の測量図である明治前期の地形図や、 観復元を行ないます。 景観復元図の作成 以上の資料をもとに、 ベースの地図には正確かつ最古 文献史料から抽出し 最も正確な近世 中世の一時期に 景観の本質を 中世の景 同時に、

おり、 います。 た砂州でした。かつてはこれらの地名がある辺りまで浸食の砂が大阪湾の沿岸流によって運ばれて形成され 記号や数字・平仮名・片仮名は注(1)拙稿掲載表の番号 州に位置し、 海だったのです。尼崎はそのもっとも南の海寄りの砂 神崎川や武庫川から押し出された土砂や他地域の海岸 が語源か)など、海浜に関わりのある地名が多くみら い平野部では海岸線に平行して東西に集落が連なって と関連。図2・3も同様)。地形図を見ると、より海に近 神社・遺跡の分布を示しました(名称の前に付している にして、当該期に存在が確認あるいは推定される寺院・ 図です。明治一八年初測の二万分の一地形図をベース 寺院・神社・遺跡は集落やその周辺に分布して 先行研究によると、これらの集落の地盤は、 これらの集落には「長洲」「尼崎」(「海人」「岬」 は古代~一三世紀の海岸平野部の景観復元 文献史料によれば一二世紀中頃以後の新

出地であることがわかっています。

地域では寺社や遺跡はほどんと確認できません。 ら導いた景観に関わる情報を書き加えています。東側 正確な近世の尼崎城下町絵図をベースにし、諸資料か の周辺に集落が推定できます。 とする寺院や神社がいくつか立地しています。これら など)や遺跡が分布し、その西側には大覚寺をはじめ の地域では水域に面したところに寺社(辰巳八幡神社 (図 3) は一四世紀の尼崎の復元図です。 は一六世紀の尼崎の復元図です。 一方で、 さらに西側の 新たに西

が景観から推測できるのです。 寺院や神社が社会のなかで大きな力を持っていたこと 城郭が中心となる近世の都市とは異なります。中世は、 縁部にあったことがわかりました。このような景観は、 貴布禰神社といったいくつかの寺社が、尼崎のなかで 東側の地域では、近世城下町に継承される町場が、こ 砂州全体に集落が広がっていたと推測されます。 側の地域や既存の集落の間で寺院や遺跡が確認され、 大きな領域を占めていたこと、 の頃には存在していたことが文献史料によりわかりま さらに、絵図や地名などから、大覚寺や本興寺、 当時の城郭は尼崎の周 また

最奥の海域であり、 る場所にあたります。 これらに接するように寺社が立地して都市空間が拡大 でも東側の水域に接する所がいち早く発展し(図2)、 点でした。この地点は、 の最南端の砂州の、 していった(図3)と考えることができます。 ことが集落形成の始まりであり (図1)、 これらの成果を踏まえると、尼崎は海が陸地化した 東側を中心とする水際が発展の起 神崎川は上流で淀川と繋がり、 大阪湾は瀬戸内海や紀伊水道の 大阪湾と神崎川の接点に面す 尼崎のなか 陸地部

もっとも えられるのです。 尼崎はその港町として形成され、発展していったと考 戸内海や紀伊水道と京都を結ぶ水運の結節点であり、 かのぼると当時の首都京都に至ります。この地点は瀬 景観復元により、当時の社会の様子や、

尼崎の具体

には、 はどの場所でも実施可能な研究方法です。 の具体的な歴史像が浮かび上がってきます。 的な形成過程を知ることができるのです。 れらを丹念に拾い出し、 おわりに 人々の活動の痕跡が確かに刻まれています。 土地の風景やその土地に遺されたモノ 地図上に置いてみると、 多くの地域 景観復元 地域

そ

第一一号、二〇一一・九) 拙稿「中世都市尼崎の空間構造」(『地域史研究』

注

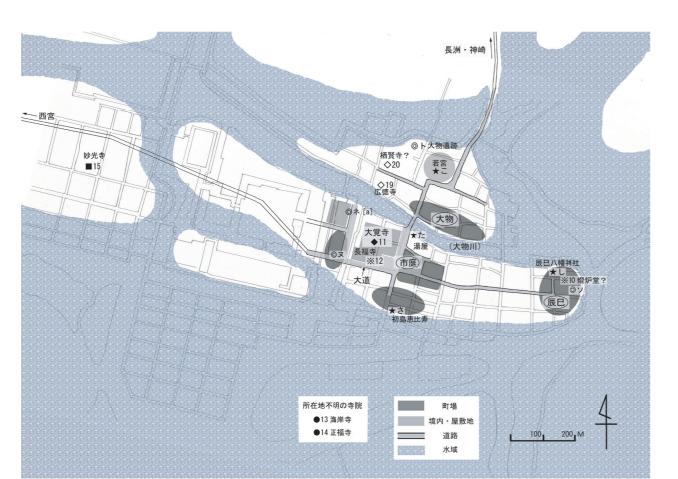
で景観復元研究が行なわれることを願っています。

- (3) 京阪地方仮製二万分一地形図。『明治前期関西地誌 東京大学出版会、一九九三)
- (4) 東京大学史料編纂所編『日本荘園絵図聚影』四: 図集成』(柏書房、一九八九)に復刻されている。
- (5)『角川日本地名大辞典』28「兵庫県」 近畿三(東京大学出版会、一九九九)。 一九八八)、『日本歴史地名大系』第二九巻「兵庫県の (角川書店、
- (6)田中眞吾「尼崎市域の微地形」(『図説尼崎の歴史』 序説2、尼崎市、二〇〇七)

(平凡社、一九九九)等がある。

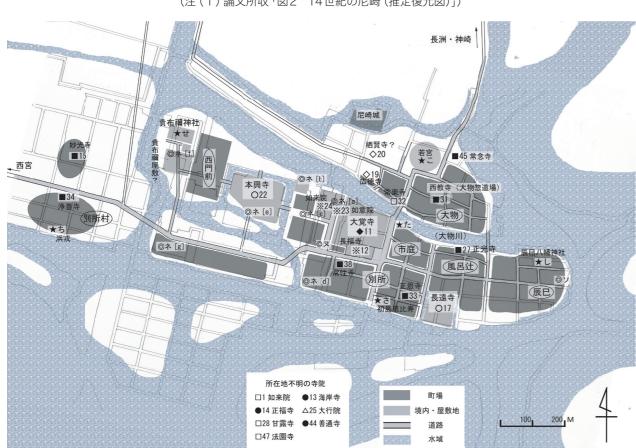
(7)「元禄末年青山氏時代尼崎城下絵図」(『日本城下町 絵図集』近畿編、昭和礼文社、 一九八三





第Ⅲ部第一章「尼崎の地理・地形」第三節〈実践編〉

(図2) 14世紀の尼崎の景観(推定略図) (注(1)論文所収「図2 14世紀の尼崎(推定復元図)」)



(図3) 16世紀の尼崎の景観(推定略図) (注(1)論文所収「図4 16世紀の尼崎(推定復元図)」)

(2) 宮本雅明「境内と門前の港町」(『図集日本都市史』



発され市街地化したエリアであるといえます。 広がっていました。 のほとんどは、 び武庫川水系の水路が縦横にめぐらされた農村風景が しかしながら、 現在の尼崎市域は、ほぼ全域が都市化しています。 近代初頭までさかのぼると、猪名川及 一九世紀後半から二〇世紀にかけて開 私たちが住み、あるいは働く地域

説してみようと思います。 過をたどって市街地化したのでしょうか。その歴史的 のか、武庫地区の阪急武庫之荘住宅地を例にとって解 背景や経緯を調べ、明らかにするにはどうすればよい では、それぞれの地域はどの時期に、どのような経

宅地は、 武庫庄(地元では「むこんしょ」、ほぼ現在の武庫之荘本町 をうかがったことでした。 にあたる)在住の西村謙治さんから、 代表する住宅地のひとつです。この地域の住宅地化に 急電鉄による宅地開発が進められた、尼崎市域北部を **調査のきっかけ** 阪急武庫之荘駅の北西に広がる住 いて調べるきっかけとなったのは、隣接する大字 いて調べるきっかけとなったのは、隣接する大字 昭和一二年(一九三七)の駅開設と同時に阪 次のようなお話

で農業に適さず、早くに住宅地化していきました」 たびに決まった場所が川のように水浸しになり、泥田 できませんが、 「区画整理で土地や水路が整備されたいまでは想像も かつては土地の高低差のため雨が降る

泥田であったという低地の位置や形状をうかがう

時をあらためて、 よる宅地開発とも関係があるようです。そこで、日 と、どうやら武庫川水系の流路のなごりで、阪急に 聞き取り調査をお願いすることに

家は、 務め、 教えていただいた要点を箇条書きにしてみます。 経過などをお聞きしました。紙面の限りもあるので、 けて武庫庄地域を歩き、 (一九九三) 五月七日、 (一九二四) 生まれの西村謙治さんは、長く学校教員を 聞き取り調査とフィ 地元の古くからの農家のひとつです。 退職後は農業を営まれる方でした。生家の西村 西村さんの案内のもと、 地形や農業のこと、 ールドワーク 大正一三年 宅地化の 平成五年 半日か

武庫之荘住宅地の東側を流れるヨシマ川の東岸、 小字でいうと西ノロ・浅堀・京役から北西の県立武 ては約二・五メートルも東側が高かった。 になった。泥田の東側には段差があり、 かつては泥田で雨が降るたび水があふれ、 庫工業高等学校(現武庫之荘総合高校)にかけては、 場所によっ 川のよう

- 196 -

- ・こういった泥田のことを、 た土地も同じような場所だった。 けても同じような泥田があり、また阪急が宅地化し んでいた。武庫庄の北東、 地元では「フケ田」 大字友行から東富松にか
- 泥田は雨が降らないときも水気が多く、 悪くて裏作に適さず、農地としては不利だった。 埋まる。田を鋤くのに牛を使うことができず、 季節は腰までつかり、 大変な重労働だった。地味が 膝まで足が 寒い
- ・こういった不利な農地が、 コで運んで宅地全体を数十センチかさ上げした。 には、南と北に大きく深い池を掘り、その土をトロッ た。阪急が武庫之荘駅の北西区画を宅地開発する際 最初に住宅地化していっ



くするため道路沿いに設けられました。 路は、阪急電鉄が宅地開発を行なった際、水はけをよ 昭和四一年頃の武庫之荘住宅地。 向かって左側の水

の橋」「二の橋」と名付けられたということです。「十七 案内しやすいよう、駅の直近から北に向かって順に「一 れました。来訪者に対してどの橋を渡ってくるのか道 り西側からもアクセスできるよう、多くの橋が架けら この道路が駅に通じる主要経路となるため、 まであります。 水路よ

(写真は『市制の周年記念誌あまがさき60』より)

に参考文献・参考資料との対照作業を行ないます。(2) 住宅地開発の地理的条件や経緯を考えるうえで、 へん興味深いものでした。これを裏付けるために、 参考文献・資料との対照作業 西村さんの証言は たい 次

ると考えられ、そのことが 描かれたフケ田はそういった流路のなごりの低地であ 平野の形成」の解説や、都市化以前の地形図などから、 た武庫之荘住宅地が水路沿いの、 高線を読み取ることで、フケ田の場所や阪急が開発し た小字名にも表れています。 東に数多く流れていたことがわかっています。左図に かつての武庫地区には武庫川水系の流路が北西から南 します(左図参照)。『尼崎市史』第一巻第一章「尼崎 地図のうえで泥田・フケ田だった場所を確認 「フケ」「西フケ」といっ また地形図上の水路や等 周囲より低い土地で

あったことも確認できました。

郊農業の とへの抵抗感も少なかったというのです。 菜を日々出荷して現金収入を得ていく典型的な都市近 作中心で、その違いがそれぞれの村の気質にも影響し 田耕作中心、 くりと米を作る「上ん台」の村々に対して、 ていたことがわかってきました。一年サイクルでじっ また稲作に適した黒土の「上ん台」の村(大字)は水 高低差が「上ん台」と「下 の聞き取り調査の結果、西村さんが言及された極端な と呼んで区別していました。周辺大字の農家の方々へ あたっており、地元では両者を「上ん台」「下ん台」 この地域は、 「下ん台」は、時流に敏感で農地を手放すこ 武庫川が運ぶ砂地の「下ん台」の村は畑 伊丹台地と武庫川の沖積平野の境界に ん台」の境目にみられたこと、 畑作の野

あって、 明らかになってきました。 真っ先に応じていった経過が 不利であることや村の気質も 地が帯状に分布し、農地として 阪急による宅地開発に

『尼崎市史』第

界付近にかつての流路のなごりである低いフケ田の土

これらを総合すると、「上ん台」と「下ん台」の境

多様な情報源による確認

対応して沿線宅地開発を進め 史』(一九五九) は、 行した『京阪神急行電鉄五十年 る同社の経営戦略を解説して の都心過密化や住環境悪化に るのでしょうか。阪急電鉄が発 の文献や資料からは確認でき 以上の開発経緯は、 現尼崎市域北部の昭和 明治末以降 開発者側

> した。 一〇年代の駅開設と宅地開発も、 これに沿ったもので

庫之荘住宅地の開発経緯を、 もわかってきました。こういった傍証から、前記の武 隣農家の子弟を雇用するなど地元に配慮していたこと 農地を買収して開発したこと、阪急は買収担当者に近 住宅)の調査から、やはり園田でも耕作条件が不利な 武庫之荘と同時期に開発された阪急園田住宅地(園和 経緯を確認することはできませんでした。その一方で、 定理由などは書かれていません。阪急に問い合わせて ることができました。 も、これらに関する資料は残っていないということで、 ただし、 社史には個別の住宅地の開発経緯や場所選 ほぼ確実なものと確認す

注 考えていくうえでも重要なことと考えています。 ることは、今日のまちのあり方や今後のまちづくりを その出発点となる宅地開発の歴史的経緯を明らかにす 度経済成長期前後には行政主導の土地区画整理も進め られ、市域北部はほぼ全面的に市街地化していきます。 大正期に始まる阪急沿線の宅地開発を皮切りに、 高

(1)本コラムは、『地域史研究』第二四巻第一号(一九 業と住宅地化 九四・七)掲載の辻川敦・吉田かおる「武庫地区の農 -地理・地形の影響―」 をもとに執筆 L

2 果は『図説尼崎の歴史』序章2 の内容と合致している。 崎市史』第一巻との対照作業を行なった。 調査時点が 『図説尼崎の歴史』刊行前なので、 「尼崎市域の微地形」 その解析結

地域研究史料館 (担当

西柿ノオ シクシク 庄 武 マ川 小布羅川 稲荷 阪急武庫之荘駅開設時産 主行言 西貝原 に住宅地化された区域神田 南武庫代注 **阪急が掘った池の位置** 武庫之荘住宅地と泥田(フケ田)の位置。武庫川水系の旧

流路に沿っていることが読み取れる。 巻付図「尼崎市小字図」上に作図。

第Ⅲ部第一章「尼崎の地理・地形」第三節〈実践編〉

第三節〈実践編〉

1地理研究の実践

地名研究の実践

「尼崎」という地名、小字調査

地名は、どのようにして調べればよいのでしょう ふたつの実践事例をご紹介します。

「尼崎」という地名

であるということができます。 この地名は、次の三つの点で、きわめて特徴的な地名 現代の自治体名称として用いられる地名「尼崎」。

由来が明確であり、地名研究の典型例ともいうべき地 ちが見事に合致している、という事実です。 代に至るまでの地域特性と、地名本来の由来・成り立 名であること。第三に、その地名を付された土地の現 二に、土地形成を直接記録する史料があるうえ、 ま伝えられ、現代地名として用いられていること。第 まず第一に、古代・中世に起源を持つ地名がそのま 地名

「尼崎」の由来を具体的に解説します。 地名研究の一般的な方法・手順に沿って、 地

順として、まず史料上の初出を確認することが重要で として成立したのかを知る、 す。その地名が、いつの時代に、どの土地を指す地名 初出史料を調べる 歴史的地名を調べる際の基本手 大きなヒントになるから

きます。 る 史料年代が繰り上がり、修正される可能性はつねにあ 事実を忘れないでください。その後の調査により初出 ている地名であれば、これらにより確認することがで 巻第三号掲載の「尼崎市域地名の史料上の初見」に載っ 文献」に紹介した地名辞典類や、『地域史研究』第九 本章第二節〈史料編〉3「地名を調べるための基本 刊行された時点で判明している初出であるという ということです。 ただし、こういった文献に紹介されているの

請文」です。東大寺と鴨社が支配を争った長洲海浜鎌倉時代初期の文書と考えられる「大物浜・長洲浜 ります。 大物の南の海に新たにできた土地であることがわか は平安時代後期の久安年間(一一四五~一一五二)頃、 地の形成や領有について記したこの文書から、 現在知られている「尼崎」という地名の初出史料は、 尼崎

南東部の土地形成メカニズムと合致します。 ぶ土砂が砂州を造り、新たな海岸線となる現尼崎市域 この史料に記された尼崎の成り立ちは、海・川が運

例を知りません。 査者に対してこれほど親切な初出史料というのは他に 経過したのち、土地名称として記載されるのが普通で た土地なのか解説するものはきわめてめずらしく、 なお、史料に登場する地名は、成立して一定時間が この史料のように、いつどのようにして形成され 調

場する「海士崎」「海人崎」という表記です。 ましょう。その手掛かりとなるのが、中世の記録に登 た土地に「尼崎」という地名がついた理由を考えてみ 地名の由来を考察する 次に、この砂州から生まれ 違う漢

「尼崎」の初出史料

「大物浜・長洲浜請文」

(真福寺文書、『尼崎市史』第四巻Ⅱ猪名庄・長洲庄 関係史料五八)

(意訳「尼崎浜は大物から河を隔てた南、 尼崎浜者大物以南隔河、久安以後新出地也 以後の新出の地である」) 久安年間

「海士崎」「海人崎」と記す史料の例

(『尼崎市史』第四巻Ⅰ一般編年史料三六〇) (意訳「八月六日、諸国を大風が襲い津波が打ち上げ、 ·**異本塔寺長帳」**文明七年——四七五—八月六日条 津浪ニテ、家夥人モ千人余波ニ被取 とくに摂津国海士崎は大津波により家多数、人も 八月六日諸国大風津浪打揚、別シテ摂州海士崎大

- 198 -

東大寺円照上人行状」下

千人余りが流された」)

(『続々群書類従』第三)

彼院、大致」営造、興行数年後、棄往 先於,海人崎,建,大覚寺、後興,行北洛東北院古跡 照公和上差 琳海公為 大乗院長老職、海公管 領 他所矣、

営造した。 (意訳「照公和上(円照上人)は琳海公を大乗院長 後北洛東北院の古跡を再興した」) 赴いた。まず海人崎において大覚寺を建て、 老職とし、海公(琳海)はこの院を管領し大いに 数年これをよくした後、去って他所に

字を使っていますが、 いずれも同じ地名です。

海に突き出た場所を意味します。文字通りに解釈する 「海女」と呼ぶのは、その名残りです。また、「崎」は と、漁民・海民が住む海に突き出た場所、という意味 「アマ」は、漁民・海民を意味する古代・中世の言 いまも海に潜って魚や貝を採る女性のことを

地名「尼崎」の由来を表す原形であると考えられます。 状を考えると、「海士崎」「海人崎」という表記こそが 大阪湾の潮流に沿って南東に突き出た当時の土地の形 港町・舟運の地として栄えた中世尼崎町の歴史と、

生き残り、

話を戻します。複数の表記のうち「尼崎」が歴史的に

定着したのは偶然なのでしょうか。

時代とともに変化する地名 さて、地名「尼崎」に

字表記が固定されておらず、多様な表記が併用される 「守部」と「森部」、といった表記の揺れがみられます。 とより近世の村名においてさえ、「西昆陽」と「西小屋」、 という事実です。市域を例にとると、 ておく必要があるのは、近世以前の地名は必ずしも漢 定着したことの意味を考えてみましょう。まず確認し 地名の漢字表記 では次に、「尼崎」という表記が 古代・中世はも

伝説が生まれます。 つの時代からか六甲山と呼ばれるようになりまし たのが山名の始まりであるという、 に位置する武庫山に「六甲」の字を宛てた結果、 てしまうケ ときには漢字だけでなく、 そうなると今度は、神功皇后が六つの甲を埋め ースもあります。 武庫郡や武庫川の後背 呼称そのものが変わっ まことしやかな

地名研究ではなくなります。日本の地名表記は、 的な地名由来ととらえだすと、それはもはや実証的な を理解する必要があります。 表意文字である漢字を表音文字として用いていること 民俗学でいう地名伝承と理解すべきところを、 そのうえで、 使われてい 本来 歴史

> ただければと思います。 かに無意味で危険であるかということを肝に銘じている漢字からの想像だけで地名由来を論じることが、い

の実証的な推測を慎重に行なうことが重要です。 表れ方を十分確認したうえで、想像ではなく地名由来 歴史的事実や背景を調査し、 さまざまな地名表記の

好字を着けよ」とあり、延長五年(九二七)成立の「延の風土記作成の詔には「畿内七道諸国の郡郷名は 持ったと考えるべきでしょう。 る指針にとどまらず、社会通念として大きな影響力を 現代に至るまで二字地名が優勢であることから、単な 名、並びに二字を用い、必ず嘉名を取れ」とあります。 喜式」巻二二民部上には「およそ諸国部内の郡里等の 家による地名表記指針、縁起の良い漢字二字を使うと いう考え方を思い出してください。和銅六年(七一三) ここで、本章第二節〈史料編〉3に紹介した古代国

とには、ある種の必然性があったのではないかと考え であるとすれば、「尼崎」という表記が定着したこ

オロギーが支配的な階級社会でした。「海士」「海人」 級構造のなかでは下層に位置していました。同じ音の ば対局の上位に位置する存在といえます。 「尼」は仏に仕える女僧ですから、社会のなかでいわ =漁民・海民は殺生を生業とする民であり、 人崎」という表記が淘汰されていく中世は、 て二文字です。のみならず、併用された「海士崎」「海 まず第一に、三文字の「海士崎」「海人崎」に対し 仏教イデ 当時の階

> した歴史的理由・背景があるのではないかと考えられ このあたりに、 「尼崎」という表記が好まれ、定着

する区域は現市域へと広がっていきます。 その後、市は周辺村を合併し、尼崎という地名がカバー の市制施行後は行政上も「尼崎市」に統一されました。 用的には「尼崎」が多く用いられ、大正五年(一九一六) の正式表記は「尼ヶ崎町」でした。ただし、 記もみられ、明治二二年(一八八九)成立の町村制下 近世以前には「尼ヵ崎」「尼ヶ崎」とカナを付す表 当時も慣

代表する工業都市へと変貌していきます。 干拓により数多くの新田が開かれました。近代に入る 家の魚市場には瀬戸内一帯の魚が集散し、 た中世尼崎町が近世には尼崎藩の城下町となり、中在地名の歴史的変化と並行する形で、港町として栄え と新田地帯が臨海工業地帯に姿を変え、尼崎は日本を 臨海部には

どふさわしい地名はないでしょう。 土地形成メカニズムを反映する「尼崎」という言葉ほ 弥生時代以降に海・川が運ぶ土砂が堆積してできた新 とがわかります。さらには、現市域の土地の多くが、 海から生まれ、つねに海・川とともにあり、どの時代 も臨海部の経済活動が活力の源泉のひとつであったこ しい土地であり、そこに立地する都市の名前として、 こうしてみると、「尼崎」と呼ばれる地域の歴史は、

えるのではないでしょうか。 だからこそ注目すべき貴重な地域資源・歴史遺産とい 的特性に合致した「尼崎」という地名は、 みられます。平安時代以来の歴史を表し、 降、歴史性という点で疑問を感じる自治体名もときに 日本全国を見渡せば、とくに平成の市町村大合併以 いまの時代 地域の歴史

-199-

小字調査

落合重信氏は、大字と小字の い」と主張されました。 的な地名研究はやはり小字名 違いに無頓着な地名研究が目 を主体としなければならな 立つことを批判し、 地名研究の第一人者であった まで集落名であって「一般 小字研究の意義 大字はあ 兵庫県の

注意が必要です。 近代のいずれのものなのか、 は対象の字 (小字) が近世・ 3に説明したように、 小字は近世の複数の字を統合 介します。 したものなので、 ここでは落合氏にならっ 小字調査の実践例をご紹 ただし本章第二節 調べる際に 近代の

考察していきます。 記された近世の字について、 部の小字図を、 いる必要があります。そうた村絵図などの史料が残って 調べるためには、 ました。以下、図上に黒字で いった村のひとつである下坂 下坂部の字名 上段に掲載し これを記し 近世の字を

> ことで、由来を推測することができる場合があります。 れでも絵図・地図や土地の現況などと照らし合わせる の由来を字名表記から読み取ることはできません。そ 表記はさまざまで読み方が変わる場合もあり、すべて の解説でふれた「武庫山」「六甲山」のケースと同様、 も命名由来があったはずですが、 字は、集落地や田地の区画ごとの名称です。 前項の地名「尼崎」 どの字

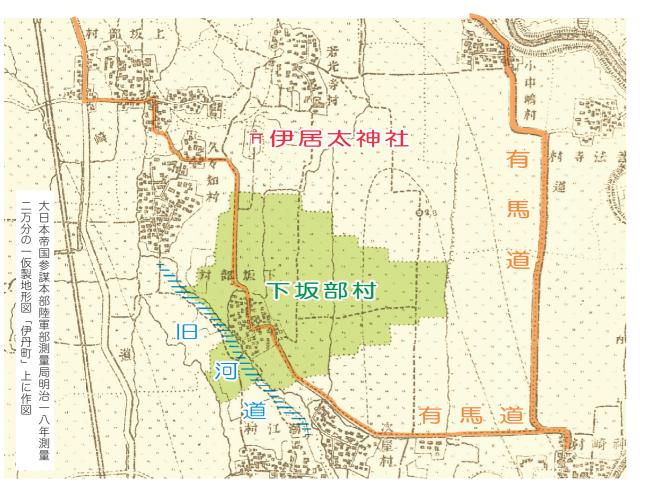
などは、 集落との位置関係に由来する字名でしょう。 のまわりの「北ノロ」「西畑」「出口」「南ノ口」「南畑」 わ大きい「屋敷」という字があります。 く居宅が集まる集落地です(次頁の地形図参照)。 集落地とその周辺 いずれも集落への出入り口にあたることや、 下坂部の村域の南西に、 読んで字の如 ひとき 「屋敷」

映している場合が多いと考えられます。 城郭的機能を有した環濠集落が多い地域なので、「○ 居(土塁)が集落の周囲をめぐる、中世にはある種の など、さまざまな字名が付けられています。水路と土 か「開地・カイチ」「垣ノ内」「殿内」「城ノ内」「堀ノ内」 ノ内」という字名にはこういった歴史や集落構造が反 尼崎地域の村の集落地には、 「屋敷・ヤシキ」のほ

- 200 -

みると、 れは、 北西の久々知まで有馬道沿いに集落が続き、下坂部の 囲をめぐる環濠集落の形をなしていました。 れも河川沿いの自然堤防上に位置しており、 残り(旧河道)と考えられます。これらの村々はいず 西側に平行して細長い形の区画が描かれています。 環濠集落と旧河道・低湿地の字名 集落形成以前にこの付近を流れていた河川の名 東側(右下)の神崎から次屋・下坂部を経て 次頁の地形図を 水路が周 Z

下坂部の場合、屋敷の西側や南側の細長い区画に「川 「南川田」といった字があるのは、 おそ



雨が降ると川のようになって た字名もよくみられます。 ほか「深田」「フケ」といっ こういった土地には、 らく流路の名残りで低湿な しまう田地と考えられます。 川田の

守)や環濠地を表す字名がつ ぐる土地だったので、「宮」(鎮 には「土井ノ内」「正理かいち」 いたのでしょう。 宮ノ前」があります。 村の北側、伊居太神社付近 おそらく周濠がめ 村 の

れます。 形を表しているものと考えら 堀」は、やはり集落の環濠の 接する場所。その南の「城ノ うまでもなく西隣の久々知に その南西の久々知前は、言

年代が古く、 つきやすい集落地や旧河道エ 条里制の名残りをなんらか伝 行された河辺南条に含まれま 坂部を含む猪名川流域は開発 える区画の可能性があります。 方形区画が目に付きます。 から東部にかけては、 比較的地名由来の推測が 整形された田畑の形は、 古代条里制が施 整った 下

> 里制区画の歴史を伝えているのかもしれません。 らのうちいくつかは、数字と条・里・坪で示される条 「六反田」など数字の入った字名が目立つので、これ ろは、必ずしも明確ではありません。「九ノ坪」「十ノ坪」 リアに対して、 方形田畑の区画の字名が意味するとこ

字の意味にとらわれすぎたり、想像を積み重ねること 前項の地名「尼崎」の解説でもふれたとおり、表記文 ぶことも、小字調査のうえで大いにプラスになります。 す。他地域の類似字名との対比や、先行研究事例に学 を試みてみました。地形や地理との照合がひとつのポ イントであることを、ご理解いただけたかと思いま その一方で、字名由来の考察はあくまで推測です。 以上、下坂部の字名を例にとって、地名由来の推測

注 重な考察をこころがけることが重要です。

は危険です。地名研究の基本に立って、

実証的かつ慎

- (1) 渡辺久雄「「尼崎」という地名の起源」(『地域史研 地名「尼崎」について論じている。 名を調べるための基本文献」に紹介する地名辞典類が、 究』第一巻第一号)及び、本章第二節〈史料編〉3「地
- 2 国書刊行会編纂、続群書類従完成会、 一九七〇

条里制の痕跡

村域の中央

- (3)落合重信「地名からみた尼崎地域」(『地域史研究』 刊行会、一九八二)に収録。 第一巻第三号)、のちに同『地名研究のすすめ』(国書 いては本章第二節〈史料編〉3参照。 大字と小字の関係性につ
- (4)『尼崎市史』第一〇巻第五章「尼崎の小字名」に、 村についてこれを掲載している。 近代の小字に加えて、 史料により近世の字が判明する

第Ⅲ部第一章「尼崎の地理・地形」第三節〈実践編〉

-201 -

2まち歩きの実践 〈実践編〉

まちを歩こう マップを作り





身によるまち歩き企画が実践されています。そんな「ま が「まち歩き」です。尼崎市内では、さまざまな地域 らせたいとは思いませんか。そんなときに有効な方法 があることがわかったら、次はそれを多くの人々に知 の作り方と、 ち歩きタウン」尼崎の事例をもとに、まち歩きマップ やテーマを設定したまち歩きマップが作られ、 地域の歴史を調べ、さまざまな地域資源・歴史遺産 まち歩きの実践方法をご紹介します。 市民自

まち歩きマップの作り方

つ「観光ツール」の役割を果たすだけでなく、 「まち歩きマップ」 は、 尼崎を訪れるお客様に役立 尼崎に

法と手順をご説明します。 住む市民のみなさんにも地域のことを知っていただ き、親近感や理解・愛着を醸成する有効な手段です。 そういったことに役立つまち歩きマップの、 作成方

で最初の重要事項が、テーマ設定と作成期間設定です。 テーマ設定と期間設定 マップを企画するうえ

を限定し、テーマを絞ったマップ作りが重要です。 マップの意図を明確に伝えるには、取りあげるエリア 的になり、伝えたいことがぼやけてしまいがちです。 時間と労力を費やす作業になります。「あれも載せた る多くの情報を収集し、取捨選択していく必要があり、 マップを作成するには、対象エリアやテーマに関す これも載せたい」という心理が働き、 情報が総花

紙風の紙に印刷することで、 エリアのマップです。前者は手描きイラストをわら半 しさに出会える 画像を掲載した「城内レトロ散歩」と「尼崎なつか まち歩きマップ」は、 レトロなイメージを印象 いずれも城内

> よってまったく別の表情がみえてくるのです。 調しました。同じエリアでも、テーマを変えることに 付けています。後者は映画のロケ地となったことを強

時間と労力が、まちに対する思いを育んでいくのです。 幾度となく繰り返す必要があり、 かっています。 したマップは、 作成期間は、余裕をもって設定します。画像を掲載 とくに情報収集作業は、 どれも企画から完成まで約四か月か 同時にこれに費やす 校正段階まで

な情報を載せよう」という実感が生まれます。 で気づかなかったまちの魅力を発見し、「多くの人に き 参考文献や地図といった資料を集めて調べるだけでな このまちを歩いてもらい、好きになってもらえるよう 2 実際歩いてみる エリアやテーマが決まったら、 ときに感動的な出会いがあったりします。それま 実際にまちを歩いてみましょう。意外な発見や驚

- 202

きイベントを実施していただきました。 事項についての情報提供にとどまらず、できたマップ 猪名寺自治会のご協力をいただきました。マップ掲載 る可能性があります。「猪名寺ぶらり散策」作成時には、 に一緒に取り組んでもらえるパ た相手は、マップ完成後の活用をはじめ、まちのため 特に、人との出会いは貴重です。そうやって知り合っ 自治会のみなさんがガイドを務めるまち歩 ートナーになってくれ

きをとることも忘れないでください。 建物の所有者や管理者に許可を得るなど、 う。天候や撮影条件が整えば、掲載用の写真を撮って る風景や対象物の候補を撮影しておくとよいでしょ しまうという手もあります。ただしそういった場合は、 実際にまちを歩いて取材する際に、マップに掲載す 必要な手続

サイズとタイトル― 情報収集や

うえで、 容にふさわしいタイトルに変更する場合もあります。 欲しいという願いを込めてタイトルを考えます。 と散策するのにぴったりな場所」とか「古い建物が多 ながら、マップが伝えたいことを表現します。「ぶらっ タイトルは、取り上げるエリアやテーマをイメージし 一度タイトルを見直します。この時点で、より紙面内 くてレトロな雰囲気」など、そういう気持ちで巡って サイズは、なるべく持って歩く邪魔にならないこと。 す。まず最初に紙面サイズとタイトルを決めましょう。 現地調査を終えて、 編集作業を終えて紙面ができた段階で、 いよいよマップ紙面編集の開始で その もう

自分なりに調べたり、再度訪れる動機付けになります。 見ることが前提となるので、立ち止まって読み込むよ に辿りつき、興味をもってもらうきっかけができれば、 うな長い説明文は避けた方が無難です。まずは目的地 イメージしながら原稿を作っていきます。 な情報量が決まります。これに沿って、 とタイトルが決まれば、おのずと掲載内容と掲載可能 4 編集作業②―原稿作成とレイアウト― レイアウトを 歩きながら サイズ

きイラストや写真を取り込んで、 ことが重要です。そのうえで、説明文を入力し、 たり、これらのソフトを使いこなせる人材を確保する ショップを使って作成しました。作業を開始するにあ に使えるソフトはいくつか考えられます。 集ソフトに関する知識・技能が必要です。 ロットした地点や施設の説明などは、 すいよう配置を工夫するとよいでしょう。地図にプ いきます。折りたたんだとき、イラストや解説が見や レイアウト作業を行なうには、一定のPC環境と編 いずれもイラスト レイアウトを考えて レーターとフォト 番号を付けて地 画像を掲載 マップ作成 手描

> 図上の位置と説明文を関連付けるなど、使う側にとっ てのわかりやすさを意識して作ることが重要です。

ました。 職員だけでなく、市民のみなさんの協力を得て作成し かというのも、マップの出来を左右する重要なポイン とが、多くの方に愛されるマップ作りにつながります。 トです。今回画像を掲載したマップは、いずれも行政 いったメンバーが編集作業を行ないアイデアを出すの 5 編集作業③―編集メンバーと協力体制 市民目線や受け手の感覚を大切にしていくこ

になるといいですね。 を通して、まちを愛する人々の声が活かされるマップ で起こった出来事を掲載しました。こういう協力作業 テーマとした映画の時代設定年代に、実際に尼崎市内 は、 「尼崎なつかしさに出会える まち歩きマップ」で 編集メンバーだった市民の方の意見を取り入れ、

なってしまいます。 ていると、そのマップを見てまちを歩く人が迷子に 意外と見落としがちです。また、 クしていきます。掲載写真と説明文の不一致などは、 です。複数人・複数回の校正により、これらをチェッ るので、不正確な表記や誤字・脱字・誤植が生じがち ら、次は校正作業です。多くの情報が盛り込まれてい かりやすいものとする必要があります。地図が間違っ 6 編集作業4-校正する-紙面の原稿ができた 特に地図は正確でわ

得ない無断複製や転用を防止するためです。 クレームを受け付ける主体を明確にし、同時に許可を または団体)を必ず明記しましょう。 7 発行主体と年月日を明記する 発行主体(責任者 マップの感想や

点のものであることを示し、 また発行年月日を入れることで、掲載情報が発行時 時の経過とともに変更が

第Ⅲ部第一章「尼崎の地理・地形」第三節〈実践編〉

載した店舗や公共施設の閉鎖や移転もあり得ます。 生じる可能性を伝えることができます。 たとえば、 掲

できる部数や仕様が決まってきます。 ます。その一方で、使用可能な予算額によって、 を、マップの性格や種類に応じて決めたうえで印刷し 8 印刷する 印刷する用紙の紙質や折り加工など 紙の厚みが少し違うだけで、印象は随分変わり 印刷

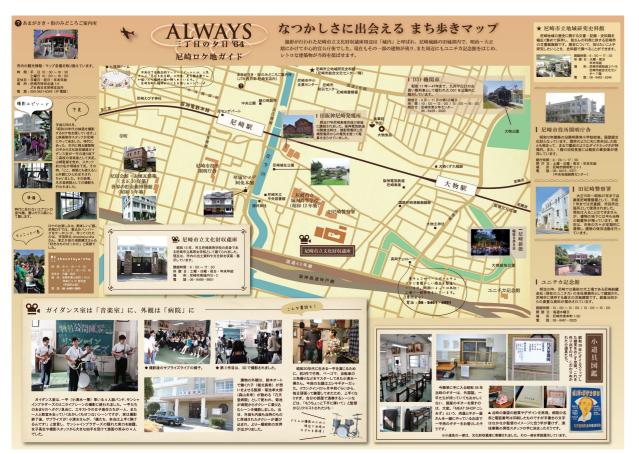
さった映画会社との間で印刷部数の取り決めがあるた 画像や情報を掲載しており、これらを提供してくだ しさに出会える(まち歩きマップ」は、映画撮影時の 印刷部数を限定する場合もあります。 増刷には許可が必要となっています。 「尼崎なつか

応を、 クセスするポイントで配布しましょう。 に応じて決めていきます。「いつ、誰に使ってもらい たいのか」が明確なマップであれば、その人たちがア しできる環境で配布するのが理想です。 そのときの反 9 常置する場所、配布ポイント 次のマップ作りに活かすことができます。 マップのねらい できれば手渡

容のその後の変化などを修正していきます。 合は改訂年月日を明記し、情報の誤りや誤植、 を改善・充実させていくことができます。改訂した場 完璧なものができなくても、改訂を重ねることで内容 マップをよりよいものにできるチャンスです。一度で 10 改訂する マップに対する感想やクレ 記載内 ムは、

それを見る人はきっと楽しく散策できるはずです。 りは決して簡単ではありませんが、 ち歩きマップ作成作業を解説してみました。マップ作 ことのできるとても楽しい作業です。楽しく作れば、 そしてマップ完成!! 以上、10の工程に沿って、 創意工夫を凝らす ま

ぜひマップ作りに、 チャレンジしてみてください。



「尼崎なつかしさに出会える まち歩きマップ」(中面)

制作・発行:あまがさき・街のみどころご案内委員会 2012.7

制作協力:東宝株式会社 /2012「ALWAYS 三丁目の夕日 '64」製作委員会



「猪名寺ぶらり散策」(外面)

発行:猪名寺自治会 2011.4 協力:尼崎市ちかまつ・文化・まち情報課





「城内レトロ散歩」制作・発行:あまがさき・街のみどころご案内委員会 2011.9 同じエリアを違う切り口で描いた次頁の「尼崎なつかしさに出会える まち歩きマップ」と見比べてみてください。

まち歩きの実践

みたくなりますね。 「まち歩きマップ」ができたら、 コースの設定 さっそく実践してみましょう。 すでにあるマップのコースや、 次は実際に歩いて

です。 えてよいので、 まち歩きマップの作り方」の内容と基本的に同じと考 いく必要があります。その具体的な手順や方法は、「一、 なるまちの歴史やポイントを調べて、 実施されたことのあるコースを歩くのもひとつの方法 そうでなければ、 そちらを参照してみてください 一からテーマを決め、 コースを作って 対象と

設定します。展示施設などトイレ休憩をとることがで 集合場所は、 鉄道駅などわかりやすく便利な場所に



実行委員会主催 歴旅ウォ 「浄光寺・杭瀬の旅」実施風景 平成24年11月25日

「歴史の旅in尼崎 北から南へ」 第3回

> ず確保し、使用できることを確認しておきましょう。 三時間を越えない程度のコース設定が無難です。 トがあれば、是非ともコースに入れておきましょう。 きる見学場所や、座って説明を聞くことができるスポッ トイレの問題は意外に重要です。コース上にかなら

無などをチェックします。 せん。コースの安全確保は、とくに入念に行ないます。 により、状況が変わっていることもめずらしくありま ら大丈夫と思っていても、 ŧ 歩いて道路の状態を確認し、 をしてみましょう。実施予定日と同じ曜日・時間帯に **2下 見** コースが決まれば、実際に歩いて下見 確かめておく必要があります。一年前に行ったか 工事や特別行事などの事情 見学施設の開館時間など 歩行の際危険な個所の有

ります。新聞や市報などへの告知掲載、チラシの配布、 といったことも、 問に答え、 時に名簿を作成していきます。実施内容についての質 方法で受け付けるのかを明らかにして、受け付けと同 般的です。電話・FAX・メールなど、誰がどういう 確保のため定員を設けて、 れます。当日自由参加とする場合もありますが、安全 ブログやSNSの活用など、さまざまな方法が考えら 3 広報と参加受付 また参加者への注意事項を確実に伝達する 事前に確認しておきましょう。 企画内容を広報し、 参加申込み制とするのが 参加を募

ども決めたうえで、資料を準備します。有料の場合、 はオリジナルの資料を作るのか、資料代徴収の有無な 既存のマップやパンフレットなどを使うのか、あるい 広報にその旨を盛り込んでおくことが必要です。 んだ資料があれば、参加者の理解はより深まります。 配布資料の準備 コース表や解説などを盛り込

5

行事保険

仲間内の催しであれば、

気にしなく

徴収すれば、事務上の手間が省けます。 手続きすることができます。保険料を徴収することを、 くことをお勧めします。社会福祉協議会などの窓口で、 場合などは、万一の事故に備えて行事保険に入ってお てもよいかもしれませんが、参加者を募集して行なう 告知の時点で参加者に予告しておき、資料代とともに

ŧ とも、 タッフが待機して中止をお知らせするのかといったこ 受付名簿をもとに中止連絡するのか、集合場所にス やスタッフ間の連絡方法などを決めておきます。 報が出ていたら中止するといった具合に、 6 天気が悪くなることがあります。 雨天中止の判断 あらかじめ決めておきましょう。 どれだけ綿密に計画を練って 何時の時点で警 判断の基準

ます。 頭・途中・最後尾などに分散して、わかりやすく大き 予定コースを十分に把握したスタッフが、隊列の先 イドスタッフが目立つような工夫も必要です。 な声で道順を指示し、交通整理を行ない安全を確保 7 実施当日 名札や腕章、旗やビブスといった、案内者やガ いよいよまち歩きのスタートです。

実りあるまち歩きにつながっていくことでしょう。 課題を共有してフォローアップしていくことが、 実施のたびに意見を吸い上げ、スタッフ間で到達点や 向けた貴重な参考情報です。 想文を回収します。 では、 予定のスケジュールを終了したら、アンケート・感 良いフィールドワークを期待しています! 参加者の声や要望は、 やりっぱなしではなく、 次の企画に より

(執筆) 正語者 茂は味み明を田が (二、まち歩きの実践 綾乃 (一、まち歩きマップの作り方)